連合愛知１万人総決起集会 アピール（案）

連合愛知は、本日ここに「すべての働く者の処遇を改善！『底上げ・底支え』『格差是正』で経済の好循環実現！」をスローガンに、2016 春季生活闘争１万人総決起集会を開催した。

日本社会は、人口減少、少子高齢化の進行や貧困と格差の拡大、不安定・低賃金労働者の増大など様々な問題を抱えている。今、わが国に求められているものは、安定した雇用や安心できる社会的セーフティネット機能を基盤とした、堅い内需に支えられた経済と安定した社会の実現である。

私たちは、2016 春季生活闘争においても、「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」に向けて月例賃金の改善にこだわる闘争に取り組む。そのためにも、徹底した個別労使協議のもと「人への投資」を求め、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」と「格差是正」を実現しなければならない。

さらに、春季生活闘争がもつ日本全体の賃金決定メカニズムを活かしつつ、中小労使は従来の「大手追従・大手準拠」などの構造転換に挑戦する。加えて、わが国全体のサプライチェーンで生み出した付加価値の適正な分配に資する公正取引を実現し、社会的波及を追求することで、未組織・非正規労働者の処遇改善につなげる。

2016 春季生活闘争を新たなスタートとし、私たちは今次闘争を「自らのもの」として捉え、一人ひとりが主体的に取り組まなければならない。すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻し、「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、「クラシノソコアゲ応援団！2016 RENGO キャンペーン」とともに、総がかりで行動することを、ここに宣言する。

２０１６年３月６日

２０１６春季生活闘争連合愛知１万人総決起集会